



寒さも少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じる頃になりました。

園庭では、落ち葉やどんぐり・オリーブの実など自然物に触れ合う子どもたちの姿がたくさん見られています。拾った物を大人や友だちに見せて「どんぐりあったね」「葉っぱ赤いね」などと言葉にしてやりとりを楽しんだり、砂場でおままごとに使ったり、自然に触れあいながら遊んでいます。



室内では、牛乳パックの積み木を並べて電車を作り、「動物園に行こう」などお出かけごっこを楽しんだり、ままごとコーナーでは作ったお弁当を持ち寄ってお友達と並んで食べたり、ジュース屋さんごっこの中で「ください！」「どうぞ！」などやり取りを楽しんだり、友だちととかわって遊んでいる姿も見られるようになりました。

生活の中では一人ひとり自我が芽生え、「自分でやりたい！」気持ちの表れから、自分で脱いだ衣服を畳んでみようしたり、おむつやズボン・靴下などを一人で履こうとする姿も見られています。子どもの「自分でやりたい」気持ちを大事にしながら、必要なところは援助してかかわっていきたいと思っています。

今年も残り1か月。体調に気を付けながら寒さに負けず元気に過ごしていきましょう。

### ●鼻のかみ方

だんだんと寒い日が続くようになり、鼻水が出る子が増えてきました。遊びに夢中になり、鼻水が垂れていることに気付かないこともあります、「鼻水出てるからティッシュで拭こうね」などと声をかけ自分で気付くことができるようになっています。徐々に、鼻水が出たら大人に伝えられるよう「鼻水が出たら、鼻水出たよって教えてね」などと声をかけて大人に知らせることができるように促しています。繰り返すうちに、鼻が出たことを言葉や仕草で伝えてくれることも増えてきています。

鼻をかめるように大人が見本を見せたり、一緒に鼻を抑えたりしながら伝えています。鼻を自分でかむことはまだ難しいですが、一人で鼻をかむことができるよう、繰り返し丁寧に伝えていきたいと思います。



今年も残りわずかとなりました。少し早いですが、いろいろご協力いただきありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひ致します！よいお年をお迎えください。

